

# 「海外グローバル研修」課題研究発表会



1 番目の発表

8 番目の発表 (1st prize = カナダの大学で発表)

**平成28年2月11日(木)** 建国記念の日 (13:00~16:30)。佐野市文化会館小ホールを会場として、課題研究発表会を開催しました。昨年度までは海外語学研修を実施していましたが、今年度、佐野高校が「SGH アソシエイト (仲間)」に栃木県で唯一選定されたことを機に、内容を大きくリニューアルした「海外グローバル研修」を実施しています。

最大の特徴は、地域の課題を発見し、研究した結果を研修先の高校や大学で発表することです。また、本校独自の取組として、高大連携により、一つの班に大学の留学生または留学経験者が数名加わり (全員で22名)、**同じ仲間**として課題研究を行いました。これは、よりグローバルな環境の中で、お互いにはないアイデアや視点、経験などを活かした研究を行うことをねらいとしています。また、研究には必ず**フィールドワーク** (現地での観察・実験、取材、アンケート等)を行います。このプロジェクトには、東京海洋大学、宇都宮大学、足利工業大学、白鷗大学が全面的に協力してくださりました。

研究のミッションは「地域にある『きらりと光るもの』や『可能性のある素材』、『こうしたらもっと良くなるもの』を見つけ、それを活用して世界にアピール・貢献するにはどうしたらよいか、を提言せよ。」というものでした。課題研究は以下の日程に加え、班別にも行ないました。(また、本校のALTによる語学研修(2回)やISA主催の渡航やホームステイに向けた研修(2回)が平日の放課後にありました。)

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| (1) 9月26日(土) 12:30 ~ 14:30  | ・本校の受講生を対象とした課題研究の説明                                      |
| (2) 10月13日(火) 16:10 ~ 18:30 | ・課題研究班の発表 (性別、クラス等が偏らないように編成)                             |
| (3) 10月24日(土) 12:30 ~ 16:00 | ・課題研究班とメンター教員 (助言者) との面談                                  |
| (4) 11月14日(土) or 15日(日)     | ・大学生 (留学生) との顔合わせ、研究テーマの設定                                |
| (5) 12月12日(土) or 13日(日)     | ・フィールドワークの内容・場所等については、この日以降、班ごとに留学生等と相談して決める。随時、メンター教員と面談 |
| (6) 12月19日(土)・20日(日)        | ・フィールドワーク (班別の活動) の基準日                                    |
| (7) 1月30日(土) 15:00 ~ 18:30  | ・日時・訪問先は自分たちで決め、アポイントメントをとる。                              |
| (8) 2月 4日(木)                | ・研究のまとめ (パワーポイント及び発表原稿作り)                                 |
| (9) 2月10日(水) 16:00 ~ 18:30  | ・I S A (本研修引受業者) によるプレゼンテーション実践                           |
| (10) 2月11日(木) 建国記念日         | ・リハーサル①   |
| (11) 3月 9日(水) ~ 18日(金)      | ・印刷用原稿 (日本語概要及びパワーポイント) 提出締め切り                            |
|                             | ・リハーサル②   |
|                             | ・発表当日 (9:30 ~ 11:15 : リハーサル③)                             |
|                             | ・現地での研修 (高校および大学での発表)                                     |

\*反転した日程は、留学生等との協働作業を行った部分です。

## 発表内容と審査結果

発表順	チーム名	研究テーマ	審査結果
1	EAKON	・ Fossil excavation in Kuzuu, GeoPark idea. How to use them to make children close to nature.	
2	KISS	・ Water purification method used in Sano water and its history.	
3	Grepe Fruit	・ How to activate Sano with the energy from foreigners.	
4	SANOMARU	・ Introduce one of the Japanese culture "Yuru-Chara,"Sanomaru"	
5	SNG	・ What can we do worldwide with the Sano craftsmanship of making "Hina dolls"?	特別賞
6	Sano Water Frontier Project	・ How to utilize the water resource of Sano (one of the 100 best waters in Japan) worldwide.	3rd prize
7	IMOFURAI	・ Investigate "Sano fried potato"and arrange it for the foreigners.	
8	Nature Wars-Shozo Awakens	・ Recovery from the mineral poison incident of Ashio copper mine, and its application to the similar cases.	1st prize
9	ICHIGO Friends	・ Introduce and appeal Sano strawberry to the world.	
10	Big Bean	・ Think about the environmental problems in Japan and Canada regarding the "dolomite"	2nd prize

### <審査員より>

- ・大胆で、奇抜な、若者らしい突拍子もない発想に期待しています。
- ・すべての生徒が英語で発表するという挑戦は素晴らしかったと思います。
- ・限られた時間の中で考え、まとめ、プレゼンテーションの準備・練習をされてきたと考えると大変素晴らしい発表だったと思います。ミッションの設定もおもしろく、地元をしっかりと持ったグローバル人材の育成がなされることを期待します。
- ・P Pのスライドに英語のスペルミス、スピーチにアクセントの誤りが見られたのが勿体ない。等

### <保護者・一般の方より>

- ・学生の柔軟なアイデアで、企画・調整・発表という大会は、人間としても大きく成長させるものと思います。発表、参加した学生、サポートされた皆様に敬意と感謝をお伝えしたいです。
- ・10グループとも佐野を世界にどうアピールしたらよいかをしっかりと考えて発表されていました。どのグループが選ばれてもいいと思いました。今年、高1になる息子にも体験させたいです。
- ・皆さん発表の仕方に工夫があり飽きることなく拝見しました。等

### <生徒より>

- ・課題研究発表会は第1回ということもあり、いろいろと慌ただしい面もあったが、全体的にはとても良かったと思います。
- ・研究期間をもっと前倒しにして、自分たちの意見をまとめる時間に充てるべきだと思います。
- ・プレッシャーもありましたが、来年からの後輩の見本になれば良いと思います。忙しくて部活や勉強の時間を割いたりとつらかったこともありましたが、その分、達成感は大きかったです。等



審査員（10名）を囲み、参加者（佐高生+留学生等）及びスタッフ全員の記念写真